

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、  
明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、  
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、  
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

2020年度から始まる新しい「<sup>がくしゅう し どう よう りょう</sup>学習指導要領」には、  
そうした願いが込められています。



「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、  
文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。  
およそ10年に一度、改訂しています。  
子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

これまで大切にされてきた、  
子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、  
これからも変わることはありません。  
一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

## 生きる力 学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、  
子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

## 目指すのは「社会に開かれた教育課程」の実現

保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えをいただきながら、  
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していきます。

保護者の皆さまへ

子供たちの「生きる力」を育むには、  
学校での学びを日常生活で活用したり、  
ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが、  
とても大切です。

お子さんが学校で学んだことについて、  
ご家庭で、ぜひ話してみてください。

保護者の皆さまの働きかけが、  
子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。



## DATA

保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。  
例えば……

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が深い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。

（平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究）